缶バッジをつくろう

団体出展

一般社団法人日本鉄鋼連盟（東京都）

●どんな工作なの？

鉄は空気中に長く放置すると酸素と結びついてさび、茶色くザラザラになるだけでなく、丈夫だったものがもろくなってしまいます。さびを防ぐために、表面にすずというさびにくい金属をめっきしたものが「ブリキ」です。ブリキは表面が滑らかで、曲げたり絞ったり接合したりと色々な加工がしやすいため、缶を作るのによく使われます。この工作では、オリジナルのデザインでブリキ製の缶バッジ (直径約 30 ㎜) を作ります。

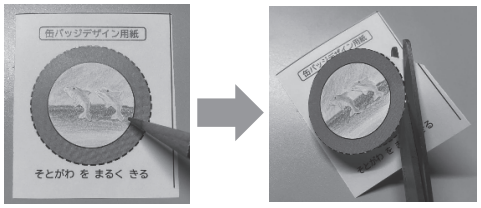
●工作のしかたとコツ

【用意するもの】

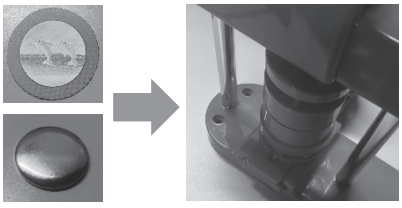
紙（デザインを描きこむ）、フィルム（デザイン用紙と上パーツを包み込む）、上パーツ（ブリキ製）、下パーツ（全体を結合する部品）、安全ピン（下パーツに取り付ける）、色鉛筆、クラフトパンチ、ハサミ、スティックのり、缶バッジメーカー（各パーツのサイズ・形状に対応しているものが必要）

【工作のしかた】

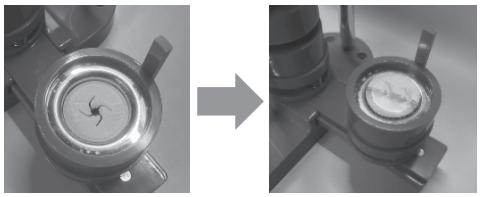
⑴デザインを描き、丸く切り取る。



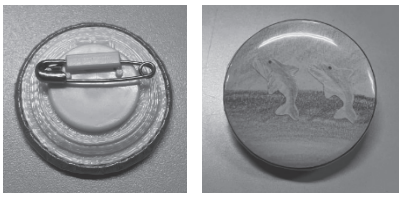
⑵上パーツとデザインをプレスして結合する。



⑶上下のパーツをプレスして結合する。



⑷安全ピンを取り付けて完成です。



●気をつけよう

クラフトパンチやハサミの刃は鉄でできており、鋭くとがっているので刃を触らないようにしてください。
缶バッジメーカーは落ち着いて使ってください。あわてるとフィルムのずれやプレス不良などの失敗やケガの元になります。

●もっとくわしく知るために

・高遠達也著 :「『鉄』の科学がよ〜くわかる本」秀和システム (2009)
・田中和明著 :「よくわかる最新『鉄』の基本と仕組み」秀和システム (2009)
・新日鐵住金 (株) 編著 :「カラー図解　鉄と鉄鋼がわかる本」日本実業出版社 (2004)
・全国小学校社会科研究協議会監修　一般社団法人日本鉄鋼連盟「ハツラツ鉄学」